

生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者実態調査）の
基本骨格（修正案）について

1. 調査の目的

障害者自立支援法廃止後の制度の谷間を生まない「障害者総合福祉法」（仮称）の実施等の検討の基礎資料とするため、在宅の障害児・者（これまでの法制度では支援の対象とならない者を含む。）の生活実態とニーズを把握する。

2. 調査の方法等

<調査の目的、内容等の広報>

- 調査の意義、目的、内容等について事前に幅広い広報を行う。

【考えられる広報】

- ・ 厚生労働省HPでの広報、マスコミへの周知
- ・ ポスターを作成し、市役所等での掲示を依頼
- ・ 自治体の広報紙等においてお知らせすることを依頼

<相談窓口の整備>

- 本調査に関連して質問・相談できる窓口を自治体において設置する。また、相談窓口があることを調査対象者に周知する。訪問自体を拒否する場合等の窓口については、自治体の窓口に加え、厚生労働省の窓口を設ける。

<「調査への協力のお願い」の事前配布等>

- 訪問の一定期間前に「調査への協力のお願い」の文書を調査地区内の全世帯に配布する。当該文書において、調査の目的、調査の重要性、秘密保持、回答の任意性、拒否の権利とそれによる不利益を被らないこと、目的外使用はしないことについて、より丁寧に説明する。

また、各自治体において、訪問自体を拒否したい場合には上記の窓口まで連絡していただくことを依頼。また、希望に応じて調査票を郵送等で取り

よ
寄せられるようにする。

＜訪問調査員の質の確保＞

- 調査の手引きにおいて、調査にあたって特に留意する点として以下の内容を提示する。
 - ・ 調査の趣旨を十分に説明し、調査対象者はいないと言われたら対象としない。
 - ・ 調査は無記名であること。
 - ・ 調査票は、本人が自ら記入し、郵送により回収することが原則。
 - ・ 答えたくないことは、無理に答えなくてもよい。
 - ・ 個人の秘密は絶対に守る。
 - ・ 調査票に記入した内容は統計上の目的以外に使用しない。
 - ・ 調査によって、現在受けているサービスについて、回答者の不利益になることはない。
- 訪問による調査票配布に伴い起こりやすいトラブルを具体的に検討し、その場合にとのように対応するか、対応例を作成し、調査の手引きに掲載する。

＜調査方法＞

- 調査員が調査地区内の世帯を訪問し、本調査の対象者が、身体障害のある方、知的障害のある方その他生活のしづらさなどがある方（日常生活に支障が生じている方）であることを説明し、調査対象者がいる場合は、調査票を手渡し、記入及び郵送による返送を依頼する。（自計郵送方式。）
- その際、調査の目的、調査の重要性、秘密保持、回答の任意性、拒否の権利とそれによる不利益を被らないこと、目的外使用はしないことについて、より丁寧に説明する。

＜適切な記入の支援の実施＞

- 調査票は原則、調査対象者本人が記入する。
- 必要に応じて、適切な記入の支援を実施。また、支援が受けられること

について、丁寧ていねいに説明せつめいを行おこなう。

- ・ 視覚し かく障害者しょうがいしゃの方かたに対して、希望たい きに応じて、点字版ほう おうまたは拡大文字版てんじ ばんの調査かくだいも じ ばん票ひょうを配布はいふ
- ・ 調査対象者ちようさ たいしょうしゃが聴覚・言語・音声機能障害者ちようかく げんご おんせいぎ のうしょうがいしゃである場合は、手話通訳者ば あい しゅわ つうやくしゃの派遣は けんについて配慮はいりよ
- ・ 障害しょうがいの状況じょうきようにより本人ほんにんが記入き にゅうできない場合、本人ほんにんの希望き ぼうに応じて、代筆だい ひつ

3. 調査ちようさの内容ないよう

(1) 調査の内容を検討するに当たっての考かんがえ方かた

今回こんかいの実態調査じつたいちようさについては、新あたらしい総合的な福祉制度そうごうてき ふくし せいどの対象者たいしょうしゃが明らかあきでないことから、その調査対象ちようさ たいしょうとなる範囲はんいを幅広く設定はばひろすることが適当せっていである。また、このような調査ちようさの基本的な性格きほんてき せいかくの下で、障害しょうがいの状況じょうきように対応たいおうしたサービス提供ていきようのあり方かたの検討けんとうに資する調査し ちようさとするためには、障害しょうがいの状況じょうたいその他の調査対象者ちようさ たいしょうしゃの基本的な属性きほんてき ぞくせいと必要ひつようとされる支援内容し えんないようとの関連かんれんについて分析ぶんせきが可能かのうとなるような調査項目ちようさ こうもくの設定せっていが必要ひつようである。

(2) 具体的な調ぐ査項目たいてき ちようさ こうもくとその必要性ひつようせい

① 回答者かいとうしゃの基本的属性きほんてきぞくせいに関する調かん査項目ちようさ こうもく

調 <small>ちようさ</small> 査項目 <small>こうもく</small>	具 <small>ぐ</small> 体的な調 <small>たいてき</small> 査内容 <small>ちようさ ないよう</small>	必要 <small>ひつよう</small> 性 <small>せい</small>
障 <small>しょう</small> 害 <small>がい</small> の状 <small>じょう</small> 況 <small>きょう</small>	障 <small>しょう</small> 害 <small>がい</small> の状 <small>じょう</small> 態 <small>たい</small> 及 <small>およ</small> びそれ <small>ともな</small> に伴 <small>に</small> う日常生 <small>にちじょうせい</small> 活 <small>かつ</small> 又 <small>また</small> は社会生活 <small>しゃかいせい</small> 上 <small>かつじょう</small> の支障 <small>し しょう</small> について一 <small>いつ</small> 定程度分類 <small>ていていど ぶんるい</small> した選 <small>せん</small> 択肢 <small>たくし</small> を示 <small>しめ</small> して選 <small>せん</small> 択 <small>たく</small> (障 <small>しょう</small> 害 <small>がい</small> の重 <small>ちよう</small> 複 <small>ふく</small> 状 <small>じょう</small> 態 <small>たい</small> についても調 <small>ちよう</small> 査 <small>さ</small>)	障 <small>しょう</small> 害 <small>がい</small> の状 <small>じょう</small> 態 <small>たい</small> 及 <small>およ</small> びそれ <small>ともな</small> に伴 <small>に</small> う日常生 <small>にちじょうせい</small> 活 <small>かつ</small> 又 <small>また</small> は社会生活 <small>しゃかいせい</small> 上 <small>かつじょう</small> の支障 <small>し しょう</small> の程度 <small>ていど</small> について分析 <small>ぶんせき</small> するた <small>め</small> に必要 <small>ひつよう</small>

<p>しょうがい げんいん 障 害の原因 とう 等</p>	<p>しょうがい げんいん せんたくし しめ ・障 害の原因について選択肢を示して めいしょう せんたく 名称 を選択 (めいしょう れい せきついそんしょう とうごうしつちょうしょう 名称 の例:脊椎損傷、統合失調 症 とう 等) ほつき しょうじょう だんぞくてき しょう ・発作など症 状 が断続的に生 じるも のについてはその頻度</p>	<p>しょうがい じょうきょう ぶんるい ・障 害の状 況 を分類 するため必要</p>
<p>にち じょう せい かつ 日 常 生 活 また しゃかいせい 又は社会生 かつ じょう し 活 上 の支 しょう しょう 障 が生じた ねんれい 年 齢</p>	<p>しょうがい ともな にちじょうせいかつまた しゃかいせいかつ ・障 害に伴 う日 常 生 活又は社会生 じょう ししょう しょう 活 上 の支障 を生 じることとなった年 齢</p>	<p>しょうがい けいぞくき かん ・障 害の継 続 期間によ り、福祉サービスの利用 じょうきょう り ようき ぼうとう 状 況 や利用希望等 に さがあるのか検 証 する ため必要</p>
<p>にち じょう せい かつ 日 常 生 活 また しゃかいせい 又は社会生 かつ じょう し 活 上 の支 しょう はっせいひん 障 の発生頻 ど 度</p>	<p>にちじょうせいかつまた しゃかいせいかつじょう し しょう ・日 常 生 活又は社会生 はっせい ひんど せんたく 活 上 の支障 が 発生する頻度を選択 (まいにち しゅう かい とう 毎日、週 〇回、等)</p>	<p>にちじょうせいかつまた しゃかいせい ・日 常 生 活又は社会生 かつ せいげん ていど め やす 活 の制限の程度の目安 として確 認 が必要</p>
<p>ねん れい およ せい 年 齢 及 び 性 べつ 別</p>	<p>ねん れい さい およ だんじょ べつ ・年 齢 (〇歳) 及 び男女の別</p>	<p>ちょうさ たいしょうしゃ ねん れい ・調 査 対 象 者 の年 齢 こうせいとう について把握する こと必要</p>
<p>きょ じゅう けい たい 居 住 形 態 および同居者 の状 況</p>	<p>きょ じゅう けい たい じ たく とう べつ どう ・居 住 形 態 (自 宅、GH・CH等 の別)、同 居 者 の本 人 と の 関 係</p>	<p>きょ じゅう けい たい どうきょしゃ ・居 住 形 態、同 居 者 の じょうきょう ふくし 状 況 と福祉サービスの 利用状 況 との関 係 等 の検 証 を行 うために 必要</p>

<p>しょうがいしゃて 障害者手 ちょうとう しゅるい 帳等の種類</p>	<p>しんたいしょうがいしゃて ちょうとう しょうがい しゅるい とう ・身体障害者手帳（障害の種類、等 きゅうべつ りょういくて ちょう ていど べつ せいしんしょう 級別）、療育手帳（程度別）、精神障 がいしゃほ けんふくして ちょう ていど べつ とくていしつかん 害者保健福祉手帳（程度別）、特定疾患 い りょうじゅきゅうしゃしょう しょうに まんせいとくていしつかん 医療受給者症、小児慢性特定疾患 い りょうじゅしんけん う む 医療受診券の有無 しょうがいていど く ぶんまた ようかいご にんてい じょう ・障害程度区分又は要介護認定の状 きょう 況</p>	<p>しょうがい もの ・障害のある者がどの ていど げんこうせいど し 程度、現行制度による支 えん たいしょう 援の対象となっている とう けんしょう か等について検証する ためひつよう のために必要。</p>
<p>しゅうにゆう じょう 収入の状 きょう 況</p>	<p>かげつあ しゅうにゆううちわけ きさい しゅう ・1ヶ月当たりの収入内訳を記載（就 ろうしゅうにゆう えん こうてきねんきん えん てあて 労収入〇円、公的年金〇円、手当〇 えんとう 円等）</p>	<p>しゅうにゆう げんじょう はあく ・収入の現状を把握 するひつよう のために必要</p>
<p>か ぜいじょうきょう 課税状 とう 況</p>	<p>しよとくぜい じゅうみんぜい か ぜいじょうきょう せいかつ ・所得税・住民税の課税状況、生活 ほご じゅきゅう う む とう 保護受給の有無等</p>	<p>しゅうにゆうじょうきょう ほ かん ・収入状況を補完す るじょうほう ひつよう 情報として必要</p>
<p>し しゅつ じょう 支出の状 きょう 況</p>	<p>かげつあ し しゅつちうちわけ きさい い りょう ・1ヶ月当たりの支出内訳を記載（医療 ひ えん ふくし りょうしゃふ たん えん 費〇円、福祉サービス利用者負担〇円（う ちしよくひ とうじつび ふ たん えん りょう 食費等実費負担〇円、サービス利用 りょう えん や ちん えんとう 料〇円）、家賃〇円等）</p>	<p>しゅうにゆう たい し しゅつ ・収入に対する支出 じょうきょう はあく 状況を把握するために ひつよう 必要</p>
<p>につちゅう かつどう 日中の活動 じょうきょうとう 状況等</p>	<p>につちゅう おも かつどうないよう れい しめ ・日中の主な活動内容について例を示 せんたく しゅうろく しゅうがく きょたくとう して選択（就労、就学、居宅等） がいしゅつ じょうきょう ・外出の状況</p>	<p>につちゅう かつどうじょうきょうとう ・日中の活動状況等 はあく ひつよう の把握のために必要</p>

②現在利用しているサービスと今後利用を希望するサービス

<p>しょうがいふくし 障 害福祉サ ービス等 の りようじょうきょう 利用状 況</p>	<p>きょたくかいご せいかつかいご た しょうがいふく ・居宅介護、生活介護その他の障 害福 祉サービスや介護保険サービス等の利用 の有無及び利用量 等</p>	<p>・どのようなサービスを利 用しているのか現状 を 把握するために必要</p>
<p>しょうがいふくし 障 害福祉サ ービス等 の きぼう 希望</p>	<p>りよう きぼう ・利用を希望するサービスの内容及び量 (居宅内の介護等の支援、外出 時の支 援、日中 の介護、就 労の支援、生活の 場等)</p>	<p>・どのようなサービスにど の程度の利用希望がある のか把握するために必要</p>
<p>その他</p>	<p>こんごく げしよ こま ・今後暮らしたい場所、困っていること、 相談相手等</p>	<p>・今後どこで暮らしたい か等を把握するために必 要</p>

(3) 調査票案について

調査票案については、平成22年度に厚生労働科学研究「障害者の生活
実態及びニーズ等を把握するための調査手法の開発に関する研究」研究班
(研究代表者：平野方紹日本社会事業大学准教授)により実施された試行
調査の調査票(別添)を基本とする(別添)。

(4) 調査対象者の範囲について

障害者権利条約第1条を踏まえ、今回の調査の対象者については、以下の
とおりとする。

【参考1】障害者権利条約第1条（政府仮訳抜粋）

「障害者には、長期的な身体的、精神的、知的又は感覚的な障害を有するものであって、様々な障壁との相互作用により他のものと平等に社会に完全かつ効果的に参加することを妨げられることのあることのあるものを含む。」

○障害者手帳をお持ちの方

○上記の手帳はもっていないが、長引く病気やけが等により生活のしづらさなどがある方（日常生活に支障が生じている方）

<次のような方は、手帳をもっていない方でも調査の対象とする>

- ①眼鏡等の機器を使用しても、見ることに困難（difficulty）を伴う
- ②聞くことに困難を伴う
- ③歩行や階段の上り下りに困難を伴う
- ④思い出すことや集中することに困難を伴う
- ⑤入浴、衣服の着脱のような身の回りのことに困難を伴う
- ⑥音声による言葉を使用して、意思の疎通（例えば、理解したり、理解してもらおうこと）に困難を伴う
- ⑦もの持ち上げや小さなものをつまむこと、容器の開閉をすることに困難を伴う
- ⑧日常的な脱力感、疲れやすさ、しびれ、痛みが継続する
- ⑨金銭管理や日常の意思決定に困難を伴う
- ⑩幻覚・妄想、そう・うつ、けいれん、薬物などの依存その他の精神の障害がある
- ⑪対人関係やコミュニケーションの困難さ、パターン化した興味や活動、読み書き能力や計算力など特化された困難さ、不注意、多動・衝動的な行動のいずれかがある
- ⑫外出、登校、行事など人のいるところへ出かけることに困難がある

⑬ 児童（18才未満）の場合、発達状況などからみて特別の支援や配慮
を必要としている

【参考2】

上記の例示は、ワシントングループが障害統計に関し国勢調査等に作成した
質問内容（six question set）等を参考に例示した。なお、ワシントングループは、
「国連障害測定に関する国際セミナー（2001年6月）」において障害データが国際
比較できるような統計的・手法的作業が国際レベルで必要とされたことから、非公
式・一時的に組織された会議（CITYGROUP）であり、会合はこれまでに10回行われ
その概要が国連統計委員会に報告されている。

—この調査は、新たな制度を検討するためのものです— 〈生活のしづらさなどに関する調査〉

全国在宅障害児・者等実態調査

この調査は、障害のある方(これまでの制度では障害児・者の福祉施策の対象とならない方も含みます。)を対象として、行う調査であり、障害児・者の福祉施策を改善するための基礎資料を得るために実施されるものです。お答えいただいた内容については、秘密の保護に万全を期すとともに、調査結果の集計以外には使用しませんので、調査へのご協力をお願いします。

【調査の対象となる方】

- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
- 上記の手帳は持っていないが、発達障害のある方、難病、慢性疾患などの長引く病気やけが等により日常生活のしづらさが生じている方

次のような方は、手帳を持っていない方でも調査の対象となります。

- ・眼鏡などを使っても、見えにくい。
- ・音が聞こえにくい。
- ・歩いたり階段を上り下りすることが難しい。
- ・思い出すことや集中することに困難を伴う。
- ・お風呂に入ったり、衣服を着たりといった身の回りのことを一人でするのが難しい。
- ・話し言葉を使って、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の話を聞いて理解するのが難しい(例えば、理解したり、理解してもらおうこと。)
- ・ものを持ち上げたり小さなものをつまんだり、容器のふたを開けたり閉めたりすることが難しい。
- ・いつも疲れているように感じたり、力が入らなかったり、しびれ、痛みが続いたりする。
- ・お金の管理や日常の意思決定が、難しい。
- ・幻覚・妄想、そう・うつ、けいれん、薬物などの依存その他の精神の障害がある。
- ・対人関係やコミュニケーションの困難さ、パターン化した興味や活動、読み書き能力や計算力など特化された困難さ、不注意、多動・衝動的な行動のいずれかがある。
- ・外出、登校、行事など人のいるところへ出かけることに困難がある。
- ・児童(18歳未満)の場合、発達状況などからみて特別の支援や配慮を必要としている。

ちょうさ ひょう き にゆう へんそう
調査票の記入・返送について

- この調査の対象となる方が世帯員におられる場合は、調査の対象となる方お一人につき1冊ずつ記入していただき、同封の返信用封筒（切手不要）にて返送していただきますようお願いいたします。
- 本調査は、○月○日時点の状況に基づいて記入してください。
- この調査票は、調査の対象となる方ご自身で記入してください。（ご本人のご意見をお聞きしたいので、お時間をかけてもできるだけご自身でご記入ください。）
- ご自身で記入できない方につきましては、ご家族の方、又は介護をしている方、信頼できる友人の方などが記入を手伝ってください。
（ご家族の方や介護をしている方などが記入される場合は、ご本人の意見を聞いて記入してください。ご自身で意思表示が困難な場合は、ご家族の方や介護をしている方が本人の意向を汲み取って代わりに記入することができます。）
- 点字やふりがなのない調査票を希望される方、回答や返送のお手伝いを希望される方、お尋ねになりたいことがある方は、下記の調査担当窓口までご連絡ください。

ちょうさたんどうまどぐち
【調査担当窓口】

- 本調査の記入方法についてご回答ください。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

- 1 本人が自身で記入
- 2 本人の意思を「代筆」で記入
- 3 家族や介助者等が本人の意向を汲み取って代わりに記入

※ ご本人以外の方が回答を記入された場合は、記入された方とご本人との関係について、あてはまる方に○をしてください。

- 1 ご家族
- 2 その他（ ）

とい 問1 あなたの年齢をお答えください。

さい へいせい ねん がつ にち ねんれい
歳 (平成〇〇年〇月〇日の年齢)

とい 問2 あなたの性別をお答えください。あてはまる方に○をしてください。

- 1 男性 2 女性

とい 問3 あなたのお住まいの種類をお答えください。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 自分の持ち家 (分譲 マンションを含む。)
- 2 家族の持ち家 (分譲 マンションを含む。)
- 3 民間賃貸住宅 (賃貸アパート・マンション)
- 4 社宅・職員寮・寄宿舎等の従業員宿舎
- 5 公営住宅
- 6 貸間 (部屋を借りての下宿)
- 7 グループホーム等
- 8 その他

※「グループホーム等」とは、障害者自立支援法に基づくグループホームやケアホーム、福祉ホームの他、介護保険による認知症 対応型グループホームや自治体独自の事業 によるものを含みます。

問4 あなたは誰と一緒に暮らしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

※グループホーム等で暮らしている人は回答する必要はありません。

- 1 夫婦で暮らしている。
- 2 親と暮らしている。
- 3 子と暮らしている。
- 4 兄弟姉妹と暮らしている。
- 5 その他の人と暮らしている。
- 6 一人で暮らしている。

問5 今後、どのように暮らしたいと考えていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 今までと同じように暮らしたい
- 2 一人暮らしをしたい
- 3 今は一緒に住んでいない家族と一緒に暮らしたい（結婚等により新しい家族と一緒に暮らす場合を含む。）
- 4 グループホーム等で暮らしたい
- 5 施設で暮らしたい
- 6 その他（ ）
- 7 わからない

※「グループホーム等」とは、障害者自立支援法に基づくグループホームやケアホーム、福祉ホームの他、介護保険による認知症対応型グループホームや自治体独自の事業によるものを含みます。

【日常生活のしづらさに関する質問です。】

問6 日常生活を送る上で障害による生活のしづらさが生じはじめた
(生活のしづらさがあると気づいた)のは何歳ごろですか。

※日常生活の中で、ご自身が不自由と感じた年齢、又は家族が気付いた年齢を
記入してください。

- 1 歳ごろ
- 2 わからない

問7 日常生活を送る上で障害による生活のしづらさが生じはじめた(生活のしづらさがあると気づいた)後、生活のしづらさの度合いは変化していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 変化していない
- 2 生活のしづらさが大きく(多く)なっている
- 3 生活のしづらさが小さく(少なく)なっている
- 4 よくなったり悪くなったりしている
- 5 わからない

問8 おおむねこの6ヶ月(平成○年○月○日～平成○年○月○日)の間に、障害による日常生活を送る上での生活のしづらさはどの程度生じましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。

※1 障害に関係のない生活のしづらさ(風邪やけが等の一時的なもの)は
含めないでください。

※2 発生が予測しにくい症状(発作等)により継続的な見守り等が必要な
場合は、毎日としてください。

- 1 ほぼ毎日
- 2 3ヶ月以上
- 3 2ヶ月以上 3ヶ月未満
- 4 1ヶ月以上 2ヶ月未満
- 5 1ヶ月未満
- 6 特に生活のしづらさはなかった

問9 おおむねこの6ヶ月（平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日）の間 の日常生活を送る上での生活のしづらさはどのようなものでしたか。あてはまる状態に〇を1つしてください。

<p>しよくじ 食 事をする</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる 3 見守り<small>み まも</small>や声掛け<small>こゑか</small>があればできる 4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる（一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>） 5 自分<small>じぶん</small>ではできない（全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>）</p>
<p>しよくじ し たく あとかた 食 事の支度や後片 づけをする</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる 3 見守り<small>み まも</small>や声掛け<small>こゑか</small>があればできる 4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる（一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>） 5 自分<small>じぶん</small>ではできない（全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>） 6 経験<small>けいけん</small>がない・機会<small>き かい</small>がない</p>
<p>い ふく き 衣服を着たり ぬ 脱いだりする</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる 3 見守り<small>み まも</small>や声掛け<small>こゑか</small>があればできる 4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる（一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>） 5 自分<small>じぶん</small>ではできない（全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>）</p>
<p>はい 排せつをする（トイ レ<small>つか</small>を使えるなど）</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる 3 見守り<small>み まも</small>や声掛け<small>こゑか</small>があればできる 4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる（一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>） 5 自分<small>じぶん</small>ではできない（全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>）</p>
<p>にゆうよく 入 浴をする</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる 4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる（一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>） 5 自分<small>じぶん</small>ではできない（全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>）</p>
<p>いえ なか い どう 家の中を移動する</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる 3 見守り<small>み まも</small>や声掛け<small>こゑか</small>があればできる 4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる（一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>） 5 自分<small>じぶん</small>ではできない（全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>）</p>
<p>み まわ そうじ せい 身の回りの掃除、整 り せいとん 理整頓をする</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる 3 見守り<small>み まも</small>や声掛け<small>こゑか</small>があればできる 4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる（一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>） 5 自分<small>じぶん</small>ではできない（全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>） 6 経験<small>けいけん</small>がない・機会<small>き かい</small>がない</p>

<p>せんたく 洗濯をする</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる</p> <p>3 見守り<small>み まも</small>や声掛け<small>こゑか</small>があればできる</p> <p>4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる (一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>)</p> <p>5 自分<small>じぶん</small>ではできない (全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>)</p> <p>6 経験<small>けいけん</small>がない・機会<small>き かい</small>がない</p>
<p>か もの 買い物をする</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる</p> <p>3 見守り<small>み まも</small>や声掛け<small>こゑか</small>があればできる</p> <p>4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる (一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>)</p> <p>5 自分<small>じぶん</small>ではできない (全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>)</p> <p>6 経験<small>けいけん</small>がない・機会<small>き かい</small>がない</p>

<p>かね かんり お金の管理をする</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる</p> <p>3 見守り<small>み まも</small>や声掛け<small>こゑか</small>があればできる</p> <p>4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる (一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>)</p> <p>5 自分<small>じぶん</small>ではできない (全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>)</p> <p>6 経験<small>けいけん</small>がない・機会<small>き かい</small>がない</p>
<p>くすり かんり 薬の管理をする</p>	<p>1 一人<small>ひとり</small>でできる 2 時間<small>じ かん</small>をかければ一人<small>ひとり</small>でできる</p> <p>3 見守り<small>み まも</small>や声掛け<small>こゑか</small>があればできる</p> <p>4 手伝<small>てつだ</small>ってもらえばできる (一部介助<small>いちぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>)</p> <p>5 自分<small>じぶん</small>ではできない (全部介助<small>ぜんぶ かいじょ</small>が必要<small>ひつよう</small>)</p> <p>6 経験<small>けいけん</small>がない・機会<small>き かい</small>がない</p>
<p>じぶん いし った 自分の意思を伝える</p>	<p>1 誰<small>だれ</small>にでも伝えることができる</p> <p>2 家族<small>かぞく</small>や友人<small>ゆうじん</small>など特定<small>とくてい</small>の人には伝えることができる (特定<small>とくてい</small>の事柄<small>ことがら</small>についてのみ伝えることができる場合<small>ばあい</small>も含<small>ふく</small>みます。)</p> <p>3 介助<small>かいじょ</small> (手話通訳<small>しゅわつうやく</small>や機器<small>き き</small>の使用等<small>しようなど</small>) があれば伝えることができる</p> <p>4 伝えることができない</p>
<p>あいて いし り かい 相手の意思を理解する</p>	<p>1 誰<small>だれ</small>の意思<small>いし</small>でも理解<small>り かい</small>することができる</p> <p>2 家族<small>かぞく</small>や友人<small>ゆうじん</small>など特定<small>とくてい</small>の人の意思<small>いし</small>は理解<small>り かい</small>することができる (特定<small>とくてい</small>の事柄<small>ことがら</small>についてのみ伝えることができる場合<small>ばあい</small>も含<small>ふく</small>みます。)</p> <p>3 介助<small>かいじょ</small> (手話通訳<small>しゅわつうやく</small>や機器<small>き き</small>の使用等<small>しようなど</small>) があれば相手<small>あいて</small>の意思<small>いし</small>を理解<small>り かい</small>することができる</p> <p>4 理解<small>り かい</small>することができない</p>

<p>い りょうてき 医療 的ケア つういん ざいたく (通院や在宅にお ける医療 的な支援 い りょうてき し えん ひつようせい の必要性)</p>	<p>1 医療 的ケアを受けていない 2 経管 栄養が 必要 3 たんの吸 引が 必要 4 導尿 が 必要 5 その他 ()</p>
--	---

ほかに、あなたが日常生活を送る上での生活のしづらさはどのようなものがありますか。

(ご自由にお書きください。)

【障害の状態等に関する質問です。】

問10 おおむね6ヶ月以内（平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日）に、身体的又は精神的に具合が悪いところがありましたか。

あてはまる方に○をしてください。

※一時的な風邪やけが等によるものは含めないでください。

- 1 はい（問10－（1）・問10－（2）・問10－（3）へお進みください）
- 2 いいえ（問11へお進みください）

問 10-(1) あなたの^{しょうじょう}症状はどのようなものですか。主なもの^{おも}3つまでを下の表から選んで○をしてください。(「36 その他」に該当する場合は、^{した ひょう}具体的な内容を記入してください。)

※問10で「1 はい」に○をした場合のみ回答してください。

※一時的な風邪やけが等によるものは含めないでください。

<p>01 熱^{ねつ}が出る^で</p> <p>02 発汗^{はっかん}・冷汗^{れいかん}</p> <p>03 体温調整^{たいおんちようせい}ができない^{ないよう きにゆう}</p> <p>04 体^{からだ}に力^{ちから}が入らない^{はい}</p> <p>05 体^{からだ}がだるい^{つか}・疲れやすい</p> <p>06 眠^{ねむ}れない</p> <p>07 いらいらしやすい</p> <p>08 もの^{わす}忘れする</p> <p>09 集^{しゅうちゆう}中^{つづ}が続かない</p> <p>10 落^おち着かない^{つづ}・衝動的^{しょうどうてき}になる</p> <p>11 気^{きぶん}分^{しず}が沈む^{いよく}・意欲^{いよく}がわからない</p> <p>12 適切^{てきせつ}な判断^{はんだん}ができない</p> <p>13 気^きになると頭^{あたま}を離れない^{はな}・こ だわりが強い^{つよ}</p> <p>14 頭^{ずつう}痛</p> <p>15 めまい</p> <p>16 けいれん^{いしきしょうしつ}・ひきつけ^{いしきしょうしつ}・意識^{いしきしょうしつ}消失</p>	<p>22 動悸^{どうま}</p> <p>23 息切れ^{いきぎ}</p> <p>24 胸痛^{きょうつう}</p>
<p>17 もの^みが見づらい^み・見えない</p> <p>18 聞^きこえにくい^き・聞^きこえない</p>	<p>25 下痢^{げり}</p> <p>26 便秘^{べんぴ}</p> <p>27 腹痛^{ふくつう}</p>
<p>19 声^{こえ}がでない</p> <p>20 音声^{おんせい}・言語^{げんご}がはっきりしない</p> <p>21 音声^{おんせい}・言語^{げんご}が話せない^{はな}</p>	<p>28 かみにくい^の・飲^のみ込みにくい</p>
	<p>29 腰痛^{ようつう}</p> <p>30 手足^{てあし}の関節^{かんせつ}の動き^{うご}が悪い^{わる}・痛^{いた}い</p> <p>31 手足^{てあし}の動き^{うご}が悪い^{わる}・痛^{いた}い</p> <p>32 手足^{てあし}のしびれ^{せつだん}・まひ</p> <p>33 手足^{てあし}の切斷^{せつだん}</p>
	<p>34 尿^{によう}が出にくい^で・排^{はい}尿^{によう}時^じ痛^{いた}い</p> <p>35 尿^{によう}失禁^{しつきん}</p>
	<p>36 その他^た ()</p>

問10-(2) どのような病気で体の具合が悪い状態が生じていますか。
 主なものを3つまでを下の表から選んで○をしてください。(「40
 その他」に該当する場合は、具体的な内容を記入してください。)
 ※問10で「1 はい」に○をした場合のみ回答してください。

01 糖尿病	22 はい 肺・気管支等呼吸器系の病気
02 甲状腺の病気	23 い 胃・十二指腸の病気
03 その他内分泌・代謝の病気	24 かんぞう たん 肝臓・胆のうの病気
04 気分障害(うつ そう)	25 だいちょう ちよくちょう 大腸・直腸の病気
05 神経症性障害(不安障害・ 適応障害等)	26 しょうちょう 小腸の病気
06 統合失調症	27 た しょうかきけい その他消化器系の病気
07 摂食障害	28 は 歯の病気
08 睡眠障害	29 ひ ふ 皮膚の病気
09 アルコール・薬物依存	30 リウマチ性疾患
10 認知症	31 かんせつしょう 関節症
11 その他の精神疾患	32 ようつうしょう ついかんばん 腰痛症(椎間板ヘルニア・脊柱 管狭窄症等)
12 パーキンソン病	33 こつそしょう 骨粗鬆症
13 てんかん(けいれん、ひきつけ、 意識消失など)	34 た きんこつかくけい その他の筋骨格系の病気
14 その他の神経の病気	35 じんぞう 腎臓の病気
15 眼の病気	36 ぼうこうの病気
16 耳の病気	37 た ひ にょうきけい その他の泌尿器系の病気
17 高血圧症	38 めんえき 免疫の病気
18 のうそつちゅう (のうしゅつてつ のうこうそくなど 脳卒中(脳出血、脳梗塞等))	39 けつえき 血液の病気
19 脳挫傷	40 その他 ()
20 きょうしんしょう しんきんこうそく 狭心症・心筋梗塞	41 ふめい 不明
21 た じゅんかんきけい その他の循環器系の病気	

問10- (3) どのくらい医療機関にかかっていますか。もっとも近いもの1つに○をしてください。

※問10で「1 はい」に○をした場合のみ回答してください。
※風邪やけが等の一時的なものを除き、身体的または精神的に具合が悪いために医療機関にかかっている回数についてお答えください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1 1週間に4回以上 | 2 1週間に1～3回 |
| 3 2週間に1回程度 | 4 1ヶ月に1回程度 |
| 5 3ヶ月に1回程度 | 6 6ヶ月に1回程度 |
| 7 入院中 | 8 医療機関にかかっていない |

問11 公費負担医療制度を利用していますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 自立支援医療（育成医療、更生医療、精神通院医療）
- 2 特定疾患治療研究事業による医療費助成制度
- 3 小児慢性疾患治療研究事業による医療費助成制度
- 4 生活保護による医療扶助
- 5 地方自治体による障害者医療費助成制度（重度障害者医療費助成制度など）
- 6 その他の医療費助成制度
- 7 利用したいが、利用できない
- 8 利用していない（7に○をつけた場合を除く。）

問12 障害の原因についてお答えください。（あてはまるものすべてに○をしてください。）

- | | |
|---------|----------|
| 1 病気 | 2 事故・けが |
| 3 災害 | 4 出生時の損傷 |
| 5 加齢 | 6 その他 |
| 7 わからない | |

問13 これまで知的障 害ち てきしょうがいとして判定・診断はんてい しんだんされたことはありますか。あてはまる方に○をしてください。

※療 育手帳りょういくてちょうをお持ちの人も ひと（問16-（1）で2の療 育手帳りょういくてちょうに○をした人）は回答かいとうする必要ひつようはありません。

- 1 はい
- 2 いいえ

問14 これまで発達障 害はったつしょうがいとして診断しんだんされたことはありますか。あてはまる方に○をしてください。

※発達障 害はったつしょうがいとは、アスペルガー症候群しょうこうぐんその他の広汎性発達障 害た こうはんせい はったつしょうがい、学習障 害がくしゅうしょうがい、注意欠陥多動性障 害ちゅうい けっかんた どうせいしょうがいなどをいいます。

- 1 はい
- 2 いいえ

問15 これまで高次脳機能障 害こうじ のうき のうしょうがいとして診断しんだんされたことはありますか。あてはまる方に○をしてください。

- 1 はい
- 2 いいえ

しょうがいしゃ かん てちょう かん しつもん
【障害者に関する手帳に関する質問です。】

問16 障害者に関する手帳をお持ちですか。あてはまる方に○をしてください。

- 1 もっている (問16-(1)へお進みください)
2 もっていない (問16-(5)へお進みください)

問16-(1) (障害者に関する手帳をもっている方) お持ちの手帳の種類はどれですか。(もっているものすべてに○をしてください。)

- 1 身体障害者手帳 (問16-(2)へお進みください)
2 療育手帳 (愛の手帳、愛護手帳、みどりの手帳等) 問16-(3)へお進みください
3 精神障害者保健福祉手帳 (問16-(4)へお進みください)

問16-(2) (身体障害者手帳をもっている方) 身体障害の種類と等級はどのように認定されていますか。障害の種類ごとに該当する等級に○をつけてください。(あてはまるものすべて)

しょうがい しゅるい 障害の種類	とう きゅう 等級
し かくしょうがい 視覚障害	1 2 3 4 5 6 .
ちょうかくしょうがい 聴覚障害	. 2 3 4 . 6 .
へいこうき のうしょうがい 平衡機能障害	. . 3 . 5 . .
おんせい げんご き のうしょうがい 音声・言語・そしゃく機能障害	. . 3 4 . . .
し たいふ じ ゆう じょうし 肢体不自由(上肢)	1 2 3 4 5 6 7
し たいふ じ ゆう か し 肢体不自由(下肢)	1 2 3 4 5 6 7
し たいふ じ ゆう たいかん 肢体不自由(体幹)	1 2 3 . 5 . .
し たいふ じ ゆう のうげんせいうんどうき のうしょうがい じょうし き のう 肢体不自由(脳原性運動機能障害・上肢機能)	1 2 3 4 5 6 7
し たいふ じ ゆう のうげんせいうんどうき のうしょうがい い どうき のう 肢体不自由(脳原性運動機能障害・移動機能)	1 2 3 4 5 6 7
しんぞうき のうしょうがい 心臓機能障害	1 . 3 4 . . .

こ きゅうき き のうしょうがい 呼吸器機能障害	1	・	3	4	・	・	・
ぞうき のうしょうがい じん臓機能障害	1	・	3	4	・	・	・
ちよくちようき のうしょうがい ぼうこう・直腸機能障害	1	・	3	4	・	・	・
しょうちようき のうしょうがい 小腸機能障害	1	・	3	4	・	・	・
めんえきふぜん めんえきき のうしょうがい ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	1	2	3	4	・	・	・
かんぞうき のうしょうがい 肝臓機能障害	1	2	3	4	・	・	・

そうごうはんてい しんたいしょうがいしやてちよう きさい どうきゅう 総合判定（身体障害者手帳に記載された等級）	1	2	3	4	5	6	・
---	---	---	---	---	---	---	---

問16-（3）（療育手帳等をもっている方）知的障害の等級はどのように判定されていますか。療育手帳等に記載されている等級をお答えください。

問16-（4）（精神障害者保健福祉手帳をもっている方）精神障害の等級はどのように判定されていますか。精神障害者保健福祉手帳に記載されている等級をお答えください。（あてはまるもの1つ）

- 1 1級
- 2 2級
- 3 3級

問16-（5）障害者に関する手帳をもっていない方）障害者に関する手帳をもっていない理由は何ですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 障害の種類や程度が手帳の基準にあてはまらない。
- 2 手帳の制度や取得の手続きがわからない。
- 3 特に手帳がなくとも困らない。
- 4 手帳を持ちたくない。
- 5 その他（ ）

【福祉サービスの利用に関する質問です。】

問17 障害者自立支援法による福祉サービスを利用していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 利用している (問17-(1)へお進みください)
- 2 利用したいが、利用できない
- 3 利用していない (2に○をつけた場合を除く。)

問17-(1) (サービスを利用している方はお答えください) 障害程度区分の認定を受けていますか。また、認定を受けている方は、障害程度区分はいくつですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 認定を受けている
→現在の障害程度区分はいくつですか。該当する区分に○をつけてください。 (1・2・3・4・5・6)
- 2 認定を受けたが非該当だった
- 3 認定を受けていない

問18 介護保険法によるサービスを利用していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 利用している (問18-(1)へお進みください)
- 2 利用したいが、利用できない
- 3 利用していない (2に○をつけた場合を除く。)

問18-(1) (サービスを利用している方はお答えください) 要介護度はいくつですか。該当する要介護度に○をしてください。

要支援1・要支援2

要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5

【日常生活上の支援の状況と希望に関する質問です。】

問19 自宅において、日常生活上の支援（食事や入浴等の日常生活上の世話を誰からどの程度受けていますか。支援の種類ごとに受けている回数にもっとも近いものに1つ○をしてください。

※グループホーム等で暮らしている人は回答する必要はありません。

福祉サービスを利用して いる（ホームヘルパー等）	家族等（親戚、近所の人、友人等を含む。）から支援を受けている	その他（有償ボランティア、私費ヘルパー、家政婦等を含む。）
1 毎日 2 1週間に3～6日程度 3 1週間に1～2日程度 4 その他 5 利用していない	1 毎日 2 1週間に3～6日程度 3 1週間に1～2日程度 4 その他 5 支援を受けていない	1 毎日 2 1週間に3～6日程度 3 1週間に1～2日程度 4 その他 5 支援を受けていない

「福祉サービスを利用している（ホームヘルパー等）」の1・2・3・4に○をされた方は問21-（1）にお進みください。

問19-（1）（福祉サービスを利用している方はお答えください）1週間当たり平均して何時間程度利用しましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 5時間以内
- 2 6～10時間
- 3 11～15時間
- 4 16～20時間
- 5 21時間以上

問20 自宅において、日常生活上の支援（食事や入浴等の日常生活上の世話）を受けるため、福祉サービス（ホームヘルパー等）をどの程度利用したいですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 毎日
- 2 1週間に3～6日程度
- 3 1週間に1～2日程度
- 4 わからない
- 5 利用したくない

「自宅において、日常生活上の支援（食事や入浴等の日常生活上の世話）を受けるため、福祉サービスをどの程度利用したいですか。」の1・2・3・4に○をされた方は問20－（1）にお進みください。

問20－（1） 自宅において、日常生活上の支援（食事や入浴等の日常生活上の世話）を受けるため、福祉サービス（ホームヘルパー等）を1週間当たり平均して何時間程度利用したいですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 5時間以内
- 2 6～10時間
- 3 11～15時間
- 4 16～20時間
- 5 21時間以上

【日中活動の状況と希望に関する質問です。】

問 2 1 日中 はどのように過ごしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 正職員として働いている
- 2 正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、派遣職員、日雇い等）として働いている
- 3 自営業をしている（家の仕事を手伝っている）
- 4 障害者のための通所サービスを利用している
（地域活動支援センターや作業所等を含む）
- 5 介護保険の通所サービスを利用している
- 6 病院等のデイケアを利用している
- 7 リハビリテーションを受けている
- 8 学校に通っている
- 9 保育園・幼稚園に通っている
- 10 障害児の通園施設に通っている
- 11 社会活動（ボランティアなど）を行っている
- 12 家庭で家事、育児、介護などを行っている
- 13 家庭内で過ごしている
- 14 その他

問 2 2 日中 はどのように過ごしたいと考えていますか。あてはまる方に○をしてください。

- 1 今までと同じように過ごしたい
- 2 今までとは違う日中の過ごし方をしたい（問 2 2 - (1) へお進みください）

問 2 2 - (1) （今までとは違う日中の過ごし方をしたい方）どのように過ごしたいですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 正職員として働きたい
- 2 正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、派遣職員、日雇い等）として働きたい

- 3 自営業じえいぎょう をしたい (家の仕事いえ しごとを手伝てつだいたい)
- 4 障 害者しょうがいしゃのための通所つうしょサービスりようを利用りようしたい
(地域活動支援センターちいきかつどうしえんや作業 所さぎょうしょ等などを含むふく)
- 5 介護保険かいごほけんの通所つうしょサービスりようを利用りようしたい
- 6 病 院びょういん等などのデイケアりようを利用りようしたい
- 7 リハビリテーションうを受けうたい
- 8 学校がっこうに通かよいたい
- 9 保育園ほいくえん・幼稚園ようちえんに通かよいたい
- 10 障 害児しょうがいじの通園施設つうえんしせつに通かよいたい
- 11 社会活動しゃかいかつどう (ボランティア等おこな) を行おこないたい
- 12 家庭かていで家事かじ、育児いくじ、介護かいご等おこなを行おこなっていたい
- 13 家庭内かていないで過すごしたい
- 14 その他た

【外出の状況と希望に関する質問です。】

問23 おおむねこの1年（平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日）の間に、どの程度外出しましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 毎日
- 2 1週間に3～6日程度
- 3 1週間に1～2日程度
- 4 2週間に1～2日程度
- 5 1ヶ月に1～2日程度
- 6 その他
- 7 外出していない

問24 外出をするときに支援が必要ですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 いつも支援が必要
- 2 慣れた場所には一人で行けるが、それ以外は支援が必要
- 3 いつもは一人でできるが、調子が悪い場合は支援が必要
- 4 その他
- 5 一人で外出できる

「外出をするときに支援が必要ですか」の1・2・3・4に○をされた方は問24－（1）にお進みください。

問24－（1）一人で外出できない場合、どのように外出していますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 福祉サービス（移動支援等）を利用している
- 2 福祉タクシー等の移送サービスを利用している
- 3 家族に付き添ってもらっている
- 4 友人や知人、ボランティア等に付き添ってもらっている
- 5 その他

問25 外出する際の支援として、福祉サービスをどの程度利用したいですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

※福祉サービスには、移動支援、行動援護、重度訪問介護を含みます。

- 1 毎日
- 2 1週間に3～6日程度
- 3 1週間に1～2日程度
- 4 2週間に1～2日程度
- 5 1ヶ月に1～2日程度
- 6 その他
- 7 利用を希望していない
- 8 わからない

【あなたの収入及び税金等の状況に関する質問です。】

問26 あなたの一月当たりの平均的な収入はいくらですか。

※18歳以上の方のみご回答ください。

ひとつきあ 一月当たりの収入	やく 約	まんえん 万円
-------------------	---------	------------

(収入がある場合は問26-(1)へお進みください)

問26-(1) (収入がある方) あなたの収入の内訳はどのようになっていますか。

きゅうりょう こうちんなど 給料・工賃等	やく 約	まんえん 万円
しょうがいねんきん こうてきねんきんなど 障害年金などの公的年金等	やく 約	まんえん 万円
こうてき てあて 公的な手当	やく 約	まんえん 万円
かぞく しんせき しおく 家族や親戚からの仕送り	やく 約	まんえん 万円
た その他	やく 約	まんえん 万円

問27 あなたの税金についてお聞きします。また、生活保護についてお聞きします。あてはまる方に○をしてください。

じゅうみんぜい 住民税	か ぜい 課税されていない	・	か ぜい 課税されている
しょとくぜい 所得税	か ぜい 課税されていない	・	か ぜい 課税されている
せいかつほ ご 生活保護	じゅきゅう 受給していない	・	じゅきゅう 受給している

【あなたの支出（使っているお金）に関する質問です。】

問28 あなたは一月当たりのどのくらいお金を使いますか。

※18歳以上の方のみご回答ください

※あなたが実際に使っているお金の額をお答えください（一緒に暮らしている人のために使っているお金の額も含みます。）

1	<table border="1"> <tr> <td>ひとつきあ 一月当たりの支出</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>やく 約</td> <td>まんえん 万円</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	ひとつきあ 一月当たりの支出	<table border="1"> <tr> <td>やく 約</td> <td>まんえん 万円</td> </tr> </table>	やく 約	まんえん 万円
ひとつきあ 一月当たりの支出	<table border="1"> <tr> <td>やく 約</td> <td>まんえん 万円</td> </tr> </table>	やく 約	まんえん 万円		
やく 約	まんえん 万円				

（支出がある場合は問28-（1）へお進みください）

2 わからない

問28-（1）（支出がある方）あなたの支出の内訳はどのようになっていますか。

福祉サービスの利用者負担（食費の負担額を除く）	やく 約	まんえん 万円
食費	やく 約	まんえん 万円
住居費（家賃）	やく 約	まんえん 万円
光熱水費	やく 約	まんえん 万円
医療費	やく 約	まんえん 万円
その他	やく 約	まんえん 万円

（福祉サービスを利用している方は問28-（2）へお進みください）

問28-（2）（福祉サービスを利用している方）通所サービス等を利用する際に食事の提供を受けていますか。また、受けている場合の一月当たりの食費の負担額はいくらですか。

1 受けている

→ 一月当たりの食費負担額 約 _____ 万円

2 受けていない

【その他の質問です。】

問29 あなたは、困ったことがあったとき、どこ(誰)に相談しますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 行政機関(福祉事務所/区市町村の障害福祉担当窓口、障害者更生相談所、保健所、精神保健福祉センター等)
- 2 福祉サービスを提供している事業所や福祉施設
- 3 医療機関
- 4 教育機関(学校等)
- 5 相談支援機関(地域包括支援センター・障害者相談支援センター等)
- 6 社会福祉協議会
- 7 障害者団体・患者会
- 8 民生委員や障害者相談員
- 9 家族
- 10 友人・知人
- 11 その他
- 12 相談したいが、どこ(誰)にも相談できない

とい 問30 あなたは、生活せいかつをしている中なかで、どのような支援しえんが必要ひつようですか。

(ご自由じゆうにお書きかください。)

【医療いりょう やりハビリテーションしえんの支援しえんについて】

【乳幼児期にゅうようじきの治療ちりょう・養育よういくや学校がっこう教育きょういくの支援しえんについて】

【日常にちじょう生活せいかつの支援しえんについて】

【福祉ふくしサービスの支援しえんについて】

【社会参加しゃかいさんか・就労しゅうろうの支援しえんについて】

【障害しょうがいに対する理解たいりかいや外出時がいしゅつじの支援しえんについて】

【権利けんりや人権じんけんを守るための支援しえんについて】

【情報じょうほう・コミュニケーションしえん支援しえんについて】

【地域生活ちいきせいかつにおける支援しえんについて】

【その他た】

とい 問31 あなたは、^{せいかつ}生活をしている^{なか}中で、どのような^{こま}ことで困ることがありますか。
^{しょうらい}将来への^{ふあん}不安も^{ふく}含めて、^{じゆう}ご自由^かにお書きください。

(^{じゆう}ご自由^かにお書きください。)